

第1回医療部会が開催されました

日時：2月6日(木) 10時00分～12時00分

場所：上伊那医療生協 けやき薬局3階会議室(箕輪町)

出席：5名(長野医療生協、東信医療生協、上伊那医療生協、県生協連事務局)

内容：長野医療生協の谷口亮一専務理事の進行で開会し、議事を進行しました。

冒頭、県生協連及び各生協の2013年度のまとめと2014年度の重点課題についてそれぞれ報告を受け、決算見通しや投資計画などについて意見交換を行いました。

続いて、2014年度以降の各生協の事業展開と生協間連携や医療部会の今後の取り組みなどについて協議を行い、近隣地域での生協間連携や医療部会の継続開催、部会長の互選(長野医療生協谷口亮一専務理事)、また、部会の取り組み内容として県外視察、地域シンポジウム、研修会・講演会などについて開催を検討していくことを確認しました。



長野市と介護福祉部会との懇談が行われました

日時：2月24日(月) 10時00分～11時30分

場所：長野市ふれあい福祉センター 4階会議室(長野市)

出席：15名(長野市介護保険課・高齢者福祉課より9名、介護福祉部会より6名)

内容：冒頭、鈴木友子部会長(県高齢者生協専務理事・県生協連理事)と小林克己介護保険課長が挨拶を行った後、参加者が自己紹介を行い、その後、生協の介護福祉部会の取り組み報告を行いました。長野市からは、地域支援事業の取組み状況や計画、高齢者の住まいについて報告いただき、意見交換をしました。



2015年度からの制度改定に向けて、介護予防事業・包括的支援事業・任意事業の内容がそれぞれ見直され、予防給付によるサービスを今後、新しい総合事業によるサービス(介護予防・生活支援サービス事業)に移行していく際には、地域の多様な主体の関わりを活用していく方向であることや国の方針に沿いながらも、長野市の実情を加味した計画づくりになるとの考えをお聞きすることができました。その後の質疑では、今後の介護報酬の改定の見通しや地域の多様な担い手のイメージ、低所得高齢者向けの住宅の確保についてなど様々な内容の質問が出され、市の担当の方から回答をいただきました。

第5回介護福祉部会が開催されました

日時：2月24日(月) 14時00分～16時00分

場所：長野医療生協 長野中央介護センターつるが会議室(長野市)

出席：7名(長野県高齢者生協、コープながの、長野医療生協、全労済ウィック、県生協連事務局)

内容：鈴木友子部会長(県高齢者生協専務理事・県生協連理事)が議長を務め、議事進行を行いました。

1. 事務局が以下のことを報告し確認しました。

(1) 第4回介護福祉部会

(2) 長野市との懇談の振り返り

2. 事務局が以下のことを提案し確認しました。

2013年度活動のまとめと2014年度活動方針

3. 会員交流

それぞれの会員生協から事業活動等の報告を受け、意見交換を行いました。



第9回幹事会を開催しました

日時：2月27日(木) 10時30分～12時00分

場所：長野県婦人会館 1階会議室（長野市）

出席：13名（幹事8名、監事2名、事務局3名）

内容：鶴飼照喜会長が議長を務め、議事を進めました。

1. 事務局が以下の事項を提案し、すべて承認されました。

- (1) 中部電力料金値上げに関する今後の取組み
- (2) 平成26年度食品衛生監視指導計画案への意見
- (3) 長野県消費者基本計画（素案）への意見
- (4) 交通政策基本計画に係るアンケート
- (5) 第52回全国消費者大会の協賛
- (6) 長野県消費者フォーラムの共催

2. 事務局が以下の事項について報告・情報提供を行いました。

第8回幹事会、中部電力の家庭用電気料金値上げ認可申請に関するチェックポイント、長野県消費生活基本計画（仮称）の策定のための消費者団体との意見交換会、地方消費者グループフォーラム、全国消団連総会議案への意見、長野県消費生活室からの資料提供（消費者行政充実のための全国交流会資料）、石油製品情報（長野県）他



協同組合間活動報告

国際協力田米発送式・学習会が行われました

日時：1月10日(金) 12時20分～14時45分

場所：J A 長野県ビル（発送式 - ビル前広場、学習会 - 13階A会議室）

出席：発送式（70名）、学習会（40名）

内容：発送式では、J A 長野中央会の春日十三男専務理事、食とみどり・水を守る長野県民会議の竹内久幸議長、食と農と環境を育むネットワークの小松由人長野県生協連事務局長より主催者挨拶がありました。また、支援米の栽培に取り組んだ信州大学教育学部の茂菅ファーミングビレッジの飯島香純副ビレッジ長からの活動報告やマザーランド・アカデミーからのメッセージが代読されました。そして、支援米の袋にメッセージを書き入れコンテナに積み込みました。

国際協力田運動は国際的な食糧支援活動で、県内の13のJ A、小学校、住民ボランティア、労働団体、生協等の協力も得ながら栽培・収穫したお米を、毎年1月に食糧難にあえぐアフリカのマリ共和国に贈っています。16年目を迎える今年は、J A あずみとコープながの組合員（家族）が作った約569kgを含む10.077kgがコンテナに積まれて出発しました。

発送式終了後は、信州大学教育学部の土井進教授から「信大茂菅ふるさと農場における“人づくり”への挑戦」と題して学習会が行われ、農場の創設の秘話、農場開墾の動機や学生主体の運営、信大茂菅ふるさと農場における“人づくり”への挑戦の成果、そして農場の閉場に伴う奉告式で、印象的であった宮司の祝詞が紹介されました。学習会後には、平成25年度の国際協力田運動の活動報告が行われ、県内の5つのJ Aより報告があり、生協関係では、コープながの総合企画室の小澤清部長よりJ A あづみと取り組んだ「ふれあい農園」の取り組みについて報告がありました。その後は、意見交換会が行われました。



土壌スクリーニングボランティアに参加しました

日程：2014年1月6日～7日（2日間）

実施場所：福島県福島市（JA新ふくしま管内）福島市平野地区

参加者：中谷隆秀

内容：2012年9月からスタートした土壌スクリーニングは、畑や果樹園は100%測定終了しており、田に水が入る期間の測定ができなかった水田の測定が約70%測定済み（2014年1月6日現在）で、4月末までに終了させることを目標に進められていました。ボランティアはサーベイメーターによる土壌表面からのベクレル/kgの計測機器（写真）を使用して計測作業を行います。

1月6日月曜日 拠点となる「福島市農業サポートセンター（JA新ふくしま管内）」に、朝到着し、JA新ふくしまの紺野茂美氏より当日のチーム編成及び測定地区の確認を受け、土壌測定に出発しました。

1チームで1日に測定できる水田は約25枚です。私の参加したショートコースの場合、1日目の終了後に、放射能や土壌スクリーニングについて、福島大学の野川憲夫特任教授よりレクチャーを受け、2日目の作業終了後には振り返りのグループワークを行いました。

2日目には午後の測定への出発前に、矢野目モニタリングセンター（放射能検査センター）を見学し説明を受けました。JA新ふくしま管内で野菜の出荷をするには必ず「トレイサビリティ」と「モニタリング検査」が義務づけられており、生産物への検査が確実に継続されている様子を学ぶことができました。

土壌スクリーニングに参加して感じたこと

- ・現地での作業は被災地の状況をとても良く理解でき、被災地復興への当事者意識が生まれる。
- ・ボランティア参加の事前の学習は重要。（HPのレクチャー）・今後の対策や計画はまだ未確定。本当に手探り状態の中で対策に挑戦している実情を感じた。復興支援はとても息の長い関わりが必要だと実感した。



写真①測定機器



雪の中の測定風景



1日目のレクチャー



矢野目モニタリングセンター



センターでの検査風景



土壌スクリーニングの事務局

消費生活協同組合(連合会)に対する 厚生労働大臣表彰受賞祝賀会を開催しました

日時：2月7日(金) 17時00分～19時00分

場所：ホテルブエナビスタ 2階レザロ(松本市)

出席：36名(県生協連役職員OB、お取引先、会員生協役職員 他)

受賞者：組合の部 信州大学生生活協同組合

個人の部 古田好男氏(生活協同組合コープながの顧問、前県生協連副会長理事・生活協同組合コープながの理事長)



内容：この表彰は、消費生活協同組合(以下、生協)法の理念に則って、長年にわたり健全な事業運営を行い、他の模範と認められる生協や生協連合会並びに役員に対し、表彰を行い、その功績と労苦に報いるとともに、生協の健全な発展に寄与することを目的に、1949年から行われており、1968年からは5年に1度、都道府県知事や関係機関からの推薦を受けて選考が行われ表彰されております。今年度は、全国で27の生協(連合会)と25名の生協関係者が10月24日に表彰を受けられ、長野県関係では、組合の部で信州大学生生活協同組合、個人の部で古田好男氏が、それぞれ受賞しました。

受賞祝賀会の開催にあたっては、県生協連の上田均会長理事、清水邦明名誉会長、米原俊夫顧問が呼びかけ人となり開催しました。祝賀会では、清水名誉会長の開会挨拶、上田会長理事からは信州大学生協及び古田好男氏の経歴や功績の紹介があり、信州大学生協の澤木幹栄理事長と古田好男氏に花束が贈呈され、お2人より謝辞をいただきました。その後は、米原顧問より乾杯の発声があり、なごやかに祝賀会が進められました。

結びには、熊崎達也氏(前信州大学生協専務理事・県生協連副会長理事)の中締めにつき、県生協連の風間広康副会長理事(全労済長野県本部専務執行役員)が開会挨拶を行い、盛会のうちにお開きとなりました。



澤木幹栄
信州大学生生活協同組合理事長



古田好男氏

Information

月 日	会議・活動内容など
3月3日(月)	消費者行政充実のための交流会、レジ袋持参率調査
3月7日(金)	長野県協同組合連絡会県内調査
3月10日(月)	電気通信者支援連絡会
3月11日(火)	食堂・売店部会
3月13日(木)	第9回長野県協同組合連絡会幹事会
3月14日(金)~15日(土)	全国消費者大会
3月18日(火)	役員推薦委員会、役員報酬委員会、第9回理事会、県労協協理事会
3月20日(木)	全国消団連第3回運営会議

月 日	会議・活動内容など
3月25日(火)	県消団連第10回幹事会、レジ袋県民の会幹事会
3月26日(水)	第9回食育全国大会実行委員会
3月27日(木)	地連運営委員会、総会議案検討会議
4月8日(火)	2014年度第1回常任理事会
4月15日(火)	全期監査
4月17日(木)	長野県虹の会世話人会
4月22日(火)	2014年度第1回理事会
4月24日(木)	長野県協同組合連絡会第44期通常総会
4月25日(金)	県労協協理事会